

平成 21 年度 秋期 IT ストラテジスト試験 解答例

午後 試験

問 1

| 出題趣旨 | |
|---|--|
| <p>IT ストラテジストには、企業の経営戦略や事業特性を理解し、事業戦略や業務改革を、システム化計画を通じて実現していく能力が求められる。</p> <p>本問では、業務改革の企画、営業支援システムや顧客情報システムの機能を整理するための実践的能力を評価する。具体的には、地方銀行における営業部門の業務改革を題材として、営業の推進やコンプライアンスの徹底といった課題への取組を、情報システムの導入を通じて実現していく際に考慮すべき事項を問う。</p> | |

| 設問 | 解答例・解答の要点 | 備考 | |
|------|--|---|--|
| 設問 1 | (1) | <ul style="list-style-type: none"> 顧客の総資産保有額 顧客の購入履歴 | |
| | (2) | <ul style="list-style-type: none"> 定期預金の期日 普通預金の残高 普通預金の入出金の状況 大口の入出金 | |
| | (3) | <ul style="list-style-type: none"> 顧客の分布 競合他行の位置・業容 | |
| 設問 2 | <ul style="list-style-type: none"> 同一顧客のすべての取引情報について、一元的に検索可能にする。 連合店内については、支店に限定されず検索可能にする。 | | |
| 設問 3 | (1) | 訪問の道筋や、時間配分を提示する機能 | |
| | (2) | <ul style="list-style-type: none"> 訪問記録と顧客の属性・購入履歴を随時照会できる機能 営業担当者への指示・アドバイスを伝達する機能 | |

問 2

| 出題趣旨 | |
|---|--|
| <p>IT ストラテジストには、対象となる業務の調査・分析を行い、全体システム化計画を適切に策定する能力が求められる。</p> <p>本問では、部門システムが個々に構築され、情報の共有が行われていないエンジニアリング会社の社内システム再構築を題材とし、新システムの活用による問題の解決、システム機能や情報の検討に対する、それぞれの能力を評価する。具体的には、各部門における業務への要望の調査、新システムの活用による顧客提案活動の強化とプロジェクトの問題の早期検出、情報の共有による購買部門の業務と顧客訪問活動における営業担当の課題の改善、新システムにおいて追加すべき機能の検討について問う。</p> | |

| 設問 | 解答例・解答の要点 | 備考 | |
|------|-----------|--------------------------------------|--|
| 設問 1 | (1) | 稼働時期を基に、対象となる情報システムや機器を確認し、更新の提案を行う。 | |
| | (2) | 月ごとに原価の予定と実績を評価し、差が大きい場合に警告する。 | |
| 設問 2 | (1) | パートナー会社への発注計画から発注予定金額を集計して、価格を折衝する。 | |
| | (2) | 顧客訪問時の質問内容と回答状況の営業部門と開発部門による共有 | |
| 設問 3 | (1) | 運用条件と設置条件の入力と主要な項目の妥当性をチェックする機能 | |
| | (2) | 情報セキュリティ強化のための活動についての評価結果 | |

問3

| 出題趣旨 | |
|---|--|
| ITストラテジストには、業種ごとの事業特性を踏まえて、経営戦略の実現に向けた情報技術を活用した事業戦略を策定する能力が求められる。 | |
| 本問では、製造販売業務を題材に、営業部門、設計部門及び製造部門の連携や業務の改善とともに、生産活動の効率向上を実現するための情報システムの構築能力を評価する。具体的には、顧客を層別してサービスレベルを変更するねらいと受注の方法、組立工場及び部品加工工場における改善の目的、並びに部品加工作業、組立作業、設置作業それぞれの間の連携強化の内容と、それらを支援する生産管理システムの機能について問う。 | |

| 設問 | 解答例・解答の要点 | | 備考 | |
|-----|---------------------------------------|----------------------------|----------------------------|--|
| 設問1 | (1) | ねらい | 機能・能力の要求、新しい利用方法などを把握する。 | |
| | | 方法 | 顧客のニーズに基づいた製品を受注する。 | |
| | (2) | ねらい | 追加設計を行わずに受注高を伸ばす。 | |
| | | 方法 | 製品を基本構成とオプションの組合せによって受注する。 | |
| 設問2 | 加工図面が確定しているので、発注事務の簡素化や外注費の低減が期待できるから | | | |
| 設問3 | 個々の製品が店舗等に作業予定日時までに届くように指示を出す。 | | | |
| 設問3 | (1) | 組立ての順に必要な部品を供給できるように指示を出す。 | | |
| | (2) | ユニット組立ての着手時刻 | | |

問4

| 出題趣旨 | |
|--|--|
| ITストラテジストには、競争力のある製品を企画・提案し、製品開発戦略や製品展開戦略を策定・推進できる能力が求められる。 | |
| 本問では、新交通システムの監視カメラシステムを題材として、顧客要求及び保有技術を整理し、新たな市場展開における、製品企画・提案を推進する能力を評価する。具体的には、克服しなくてはならない課題、差別化を図るために製品にもたせるべき特徴、低い受注価格に対する戦略について問う。 | |

| 設問 | 解答例・解答の要点 | | 備考 |
|-----|---|---|--------|
| 設問1 | 課題 | 無線を用いた通信技術の取込み | |
| | 取組 | 無線を用いた通信技術をもつメーカーとの共同開発や、技術又は部品の購入について検討する。 | |
| 設問2 | 提案項目 | 異常状態の自動検出機能 | , は順不同 |
| | 検討内容 | 現在自社が保有している技術で、要求される異常状態検出が可能か否か | |
| | 提案項目 | 遠隔からの設定値調整機能 | |
| | 検討内容 | 遠隔からの調整の対象となる設定値と設定範囲及び設定方法 | |
| 設問3 | <ul style="list-style-type: none"> 同様な交通システムを有する事業者にシステム提案を行う。 付加機能を順次提案し、その機能導入で収益を確保する。 | | |